



偶 感

松尾鑛業株式會社

社 長 中 村 正 雄

昭和の初めから戦争にかけて、余りに神がかりが多かつた故か、戦後は敬神の念が薄れて來ているようである。唯物論の横行するのも神がかりの反動が、その原因の大きな一つになつてゐるものと思われる。

しかし我々鑛山人はその携つてゐる仕事の性質上、特に神を忘れてはならないと私は信ずるのである。

というのも元來鑛山の大小は其の鑛物地下埋藏量によつて決定されるもので、人力によつてはその鑛物の有効量を増加することは出來ても、絶對量を増すことは出來ない。勝負は開山と同時に決定されているものと言ふ他ない。

そうだとすると、その鑛山を地下に埋藏した大自然の力……それが即ち神だと私は思うのだが人によつては佛とも天ともいうであらう……に對しては鑛山によつて生活する者は特に深き感謝と崇敬の念を持つべきだと私は思うのである。そして又同時に大自然の力に對して常に謙虚な心持を抱くべきではなからうか。

神に對する謙虚な心持は、從つて人間同志の中に於ても御互に謙讓なつきあいをする事になるのが自然である。

今の世の中に最も欠けてゐる道德の一つは謙讓の觀念だと言えないであらうか。皆が譲り合うことによつて此の世の中は、もつと住みよいものになることに間違ひはない。

一事業に關係を持つ經營者對勤勞者、同業の經營者對經營者、その何れもの勤勞者對勤勞者等御互に謙讓な心持を持ちたいものである。

それが事業の發展に寄與するものであり、生活の向上を實現させる大きな動力であると私は確信する。

殊に大自然力に左右されること最も大きい鑛山業に於ては其の感一層深いのである。

日本鑛業協會誌 (第三卷第九號)

九月號目次

(巻頭言)

☆偶 感……………中村正雄……………三

☆アメリカの生産技術の近情……………青山秀三郎……………四

☆世界的觀點より見た

我國石綿鑛業……………大島敬義……………一四

☆マツクマスター氏のことも……………瀬戸口 宏……………三

(スポット)

☆増産融資七十二億…………………………三

☆分級機使用方法の改善……………石田鶴男……………三

☆焙燒硫化鑛を水田土壤の老朽化防止に

利用する方法……………鹽見義廣……………三

▽「誌上鑛業相談」…………………………三

▽「鑛山の科學管理」…………………………二

▽ニュース…………………………三

▽資 料…………………………三